

科目名	Society5.0概論			復習用ビデオの録画・配信 ○	開講期間	9月24日～1月21日			
	英文科目名	Introduction to Society5.0		モバイル配信授業 ○	開講時間	木曜日 第3講時 17:30～19:00 19:10～20:40に変更			
受講定員等	担当教員	森 祥寛, 大野 浩之, 他		eラーニング —	開講場所	石川県政記念しいのき迎賓館 3階 セミナールーム B			
	単位数	2単位			成績評価の方法	授業で課したレポートで評価する。 レポートの評価では、受講者同士の相互評価も行う。			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示 に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	10,000円
科目の内容	<p>ここ最近のバズワードに「Society5.0」があります。この言葉が意味するのは、社会の情報化、ICT化を出発点として、それによって得られた、ビッグデータ処理や機械学習などの技術的革新の成果の1つである、AI（人工知能）技術や、IoT（もののインターネット）といったものが、AI化、IoT化というような形で導入・構成される社会像でしょう。AI技術やIoTの進歩は、これまでの情報やICT等の進歩と同様に、とどまることなく発達し、社会の中に浸透していくと考えられます。では、これによって、具体的に社会はどのように変化するのでしょうか。与えられる変化として、現在、考えられているのが、定型的業務や数値的に表現可能な業務が、IoTを目や耳、手足のような器官として、そして、AIを頭脳とすることによって、代替されるというものです。言ってしまうと、機械でできることは機械に任せてしまえる社会、ということでしょうか？</p> <p>具体的な社会像など、想像しつくすことはできませんが、日本政府による政府インターネットテレビにおいて「ソサエティ5.0「すぐその未来」篇」、という動画が掲載されており、そこでは社会の変化の様子が紹介されており、日本政府は、Society5.0の社会実装に向けて、さまざまな政策を実行しています。</p> <p>本講習では、金沢大学の総合メディア基盤センターが中心となり、このSociety5.0を実現するためのさまざまな研究や技術、そのために行われている施策や教育などについて、紹介していきます。受講者には、最新の研究内容などを踏まえて、Society5.0が目指す社会像やその在り方について、考えてみてください。</p>								その他特記事項
									モバイル配信を行うので、ネットワーク経由でも受講可とする。
授業担当教員紹介				URL					
ホームページ・メールアドレス等				E-mail					